

第15回 日本証券サミット ～片山金融担当大臣のビデオ挨拶～ ～三好金融国際審議官登壇～

2月11日、英国ロンドンのマンションハウスにて、日本証券業協会、日本取引所グループおよび国際資本市場協会（ICMA）が共催する「第15回 日本証券サミット」が開催されました。

ロンドンでの開催は2年ぶりでしたが、約350名の金融機関関係者や機関投資家等が参加し、英国・欧州市場関係者による日本市場への関心の高さがうかがわれました。

サミット冒頭では、片山金融担当大臣によるビデオメッセージ¹が上映され、日本経済がデフレ・コストカット型から投資と生産性向上を伴う成長型経済へ転換しつつある現状が示されました。大臣は、この好機を確かな成長へと結びつけるための政府方針として、資産運用立国の実現を軸に、コーポレートガバナンス改革の深化、成長資金の供給拡充、アセットオーナー機能の強化など、今後の政策の方向性を紹介しました。

また、三好金融国際審議官が、“Promoting Japan as a Leading Asset Management Centre”と題してリードスピーチ²を行いました。スピーチでは、政府が進める「資産運用立国」に向けた包括的な取組について、最新の進捗と今後の方向性を紹介しました。

具体的には、2024年に抜本的に拡充された新NISAの現状や、つみたて投資枠の18歳未満への対象拡大、コーポレートガバナンス・コード改訂の方向性、新興運用業者の参入促進プログラムやアセットオーナー改革などについて、説明を行いました。

さらに、三好金融国際審議官は、2月12日、在英国日本大使館主催の投資家ラウンドテーブル及びFinCity.Tokyo主催の資産運用に関するラウンドテーブルに登壇し、現地の機関投資家・資産運用業者に向けてリードスピーチ³を行いました。



写真：片山大臣挨拶（ビデオメッセージ）



写真：片山大臣挨拶（会場の模様）

¹ [片山大臣のビデオメッセージ](#)

² 三好金融国際審議官の証券サミットリードスピーチ [講演資料](#)、[講演原稿](#)

³ 在英国日本大使館主催ラウンドテーブル [講演原稿](#)、FinCity.Tokyo主催ラウンドテーブル [講演資料](#)、[講演原稿](#)